**〇〇自治会**

**地区防災計画**

○○年○○月

〇〇自主防災会

**〈目　次〉**

　１　基本方針　　　　　　　　　　　　　　 ４　防災関係施設・防災資機材リスト

　２　地区の概要　　　　　　　　　　　　　 （１）指定緊急避難場所

　（１）地区の範囲　　　　　　　　　　　　 （２）関係機関・施設の連絡先

　（２）地区の特性　　　　　　　　　　　　 （３）保有防災資機材リスト

　（３）想定される災害リスクとその対策　　 （４）備蓄食料リスト

　（４）【参考】過去の災害　　　　　　　　 ５　地区防災マップ

　３　地区の防災活動　　　　　　　　　　　 ６　大雨・台風における対応

（１）防災活動編成表　　　　　　　　　　 ７　地震における対応

（２）班編成名簿　　　　　　　　　　　　 （１）〇〇自治会の行動

（３）避難所運営委員会 組織図名簿　　　　（２）住民がとるべき行動

　（４）平常時における防災活動等　　　　　 ８　家庭における非常時の持ち出し品など

（５）災害時における防災活動

１　基本方針（目的）

　例）

　　東日本大震災をはじめとする、これまでの多くの災害の教訓からも、大規模災害の発災直後には、消防や各行政機関など、「公助」による対応にも限界があるため、自らの身は自ら守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の考え方を基本に、発災時に地域や市民自らが対応できる体制をつくることが重要である。

このことから、〇〇自治会地区防災計画は、**「災害を共助で乗り越える。」**を基本方針として平常時及び災害時における地域防災力の向上に努めるものとする。

２　地区の概要

（１）地区の範囲

　　　〇町〇丁目～〇丁目

（２）地区の特性

　　ア　人　口　　約〇〇人　（〇年〇月〇日現在）

　　イ　世帯数　　約〇〇世帯（〇年〇月〇日現在）

　　ウ　高齢化が進んでいる。

　　エ　土砂災害警戒区域に指定されている地区がある。

　　オ　木造住宅が密集している地域がある。

　　カ　ハザードマップ上、〇〇地区が浸水想定区域となっている。

（３）想定される災害リスクとその対策

|  |  |
| --- | --- |
| 想定される災害リスク | 対策 |
| 土砂災害の危険がある。 | ・早期避難を心がける。・避難場所を確認しておく。 |
| 木造住宅が密集している地域があり、火災が発生した場合に延焼拡大の危険がある。 | ・住宅用火災警報器を設置する。・初期消火訓練を実施する。 |
| 水害時に浸水の危険がある。 | ・早期避難を心がける。・避難場所を確認しておく。 |

（４）【参考】過去の災害

|  |  |
| --- | --- |
| 災害名称・災害発生年月日等 | 災害による被害状況や当時の状況等 |
| 昭和〇年〇月 | 台風により、〇〇山の一部が崩れ、道路が塞がれた。 |
| 平成〇年〇月 | 地震により、多くの住宅の瓦等が落ちるなど被害を受けた。 |

３　地区の防災活動

（１）防災活動編成表

　　　次のとおり班編成を行う。

　　　災害時には、〇〇集会所に対策本部を設置し、会長の指揮により防災活動を実施

　　する。

・災害時の情報収集

・被害状況の把握

情報収集班

（〇名）

会 長

・避難経路の把握

・災害時の避難誘導

避難誘導班

（〇名）

副会長

（〇名）

・備蓄物資、食料の管理

・災害時の炊き出し

物資供給班

（〇名）

・応急救護物品の管理

・災害時の応急救護

応急救護班

（〇名）

**連携**

市役所・警察・消防・地元消防団

（２）班編成名簿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 役　職 | 氏　名 | 電話番号 | 班構成員 |
| 会　長 |  |  |  |
| 副会長 |  |  |  |
| 情報収集班長 |  |  |  |
| 避難誘導班長 |  |  |  |
| 物資供給班長 |  |  |  |
| 応急救護班長 |  |  |  |

（３）避難所運営委員会 組織図名簿

　　　別紙として組織図名簿を添付する。

（４）平常時における防災活動等

　　ア　〇〇自治会として取り組むこと

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 具体的内容 | 実施時期 |
| 防災訓練 | 災害時にあわてずに行動できるように、各種訓練を計画する。（消火訓練、救急講習、炊き出し訓練など） | 〇月 |
| 地区の安全点検 | 地区の危険箇所を把握する。洪水ハザードマップを確認する。 | 〇月 |
| 災害時要配慮者の支援体制の整備 | 地区の要配慮者の実態把握を行う。避難誘導方法を確認する。 | 〇月 |
| 防災資機材の点検 | 防災資機材の点検及び取扱方法を確認する。 | 〇月 |
| 備蓄物資の点検 | 備蓄物資の在庫管理を行う。 | 〇月 |
| 避難所運営訓練 | 避難所運営訓練を実施する。 | 〇月 |

　　イ　各家庭で取り組むこと

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 具体的内容 |
| 非常用物資等の備蓄 | 食料や日用品など、最低でも３日分の備蓄を行う。（水、食料、生活用品など） |
| 洪水ハザードマップの確認 | 浸水想定区域を把握する。 |
| 避難所の確認 | 避難所の位置、適応災害種別を確認する。避難所までの経路を確認する。（危険な場所などがないか。） |
| 安否確認方法の確認 | 緊急時の集合場所を決めておく。 |
| 家具の転倒防止家具の配置換え | 転倒防止金具の取り付けによる転倒防止措置を行う。出入口をふさがない位置などに配置換えを行う。 |

（５）災害時における防災活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動名 | 担　当 | 活動内容 |
| 対策本部の設置 | 会長・副会長 | 対策本部を設置する。（〇〇集会所）各班リーダーを招集する。 |
| 情報収集 | 情報収集班 | 災害情報、気象情報を収集する。被害状況を確認する。 |
| 安否確認避難誘導 | 避難誘導班 | 要配慮者の安否確認、避難誘導を行う。 |
| 応急救護 | 応急救護班 | 負傷者の応急処置を行う。 |
| 物資供給 | 物資供給班 | 備蓄物資等を配布する。 |
| 避難所運営 | 避難所運営委員会 | 避難所の運営を行う。 |

４　防災関係施設・防災資機材リスト

（１）指定緊急避難場所

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名・場所名 | 住　所 | 自主避難所 | 指定避難所 | 適応災害種別 |
| 〇〇小学校 | 〇町〇丁目〇-〇 | 〇 | 〇 | 洪　内　土 |
| 〇〇公民館 | 〇町〇丁目〇-〇 | × | × | 洪　内 |

◎避難場所の種別について

・指定緊急避難場所・・・災害が差し迫った状況や発災時に、緊急的に避難し、身の安

　　　　　　　　　　 全を確保することができる施設や場所

　・指定避難所・・・円滑な救援活動を実施し、また一定の生活環境を確保する観点か

ら、被災者が一定期間滞在することができる施設

　・自主避難所・・・指定避難所とは異なり、台風や長雨などにより自主的に避難を希望

　する方を対象に常時開設している施設

◎適応災害種別について

**洪** ・・・洪水時利用可能（ただし、下の階が浸水するところもあります。）

　**内** ・・・内水氾濫時利用可能（ただし、下の階が浸水するところもあります。）

　**土** ・・・土砂災害時利用可能（ただし、周辺で土砂災害が起こるところもあります。）

（２）関係機関・施設の連絡先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 類　別 | 施設名 | 住　所 | 電話番号 |
| 市町村 | 〇〇公民館 | 〇町〇丁目〇-〇 | ℡　00-0000 |
| 医療機関 | 〇〇医院 | 〇町〇丁目〇-〇 | ℡　00-0000 |
| 消防署 | 〇〇消防署 | 〇町〇丁目〇-〇 | ℡　00-0000 |
| 警　察 | 〇〇警察署 | 〇町〇丁目〇-〇 | ℡　00-0000 |

（３）保有防災資機材リスト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 物　品 | 数　量 | 保管場所 | 定期点検実施日 |
| ヘルメット | 〇個 | 〇〇集会所 | 毎年〇月 |
| ブルーシート | 〇枚 | 〇〇集会所 | 毎年〇月 |
| 発電機 | 〇台 | 〇〇集会所 | 毎年〇月 |

（４）備蓄食料リスト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 物　品 | 数　量 | 保管場所 | 消費期限 |
| アルファ化米 | 〇個 | 〇〇集会所 | 〇年〇月〇日まで |
| 乾パン | 〇個 | 〇〇集会所 | 〇年〇月〇日まで |
| 水 | 〇リットル | 〇〇集会所 | 〇年〇月〇日まで |

５　地区防災マップ

地区にある危険箇所などを記載した防災マップを添付

６　大雨・台風における対応

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 警 戒レベル | 防災気象情報（一例） | 市が発令する避難情報など | 〇〇防災会の行動 | 住民がとるべき行動 |
| **５** | 大雨特別警報氾濫発生情報 | **緊急安全確保** | ・命を守る最善の行動をとる |
| **４** | 土砂災害警戒情報氾濫危険情報 | **避難指示** | ・危険な場所から避難・避難所の運営 | ・危険な場所から避難（周囲に声を掛け合い避難する。） |
| **３** | 大雨警報氾濫警戒情報 | **高齢者等避難** | ・災害対策本部を設置（〇〇集会所）・要配慮者の避難支援・情報収集 | ・危険な場所から、高齢者等は避難（他の住民は避難準備） |
| **２** | 大雨注意報氾濫注意情報 |  | ・各班リーダーは招集に備える・気象情報等の情報収集 | ・避難場所の確認・気象情報等の情報収集 |
| **１** | 早期注意情報 |  | ・テレビや防災ラジオ等による情報収集・災害への心構えを高める |

＊住民の避難行動は、居住地の地形、住宅構造、家族構成等の違いに応じて、各個人で

　異なることに注意が必要。

＊警戒レベル1～５については、必ずしも順番に全て発表されるものではないことに注意が必要。

（急激な気象状況の変化により警戒レベル３の情報が発令されず、警戒レベル４の情報が発令されることもある。）

＊市が発令する避難情報は、市が総合的に判断するものであることから、警戒レベル３に相当する防災気象情報が発令されたとしても、「高齢者等避難」が発令されないこともある。

７　地震における対応

（１）〇〇自治会の行動

　　ア　災害対策本部を設置する。（〇〇集会所）

　　イ　要配慮者の安否確認、避難誘導を行う。

　　ウ　負傷者等への応急措置を行う。

　　エ　備蓄物資等を配布する。

　　オ　避難所の運営を行う。

　　カ　被害状況などの情報収集を行う。

（２）住民がとるべき行動

　　ア　身の安全を確保する。

　　イ　揺れがおさまったら、火元を確認する。

　　ウ　避難のための出口を確保する。

　　エ　声かけによる安否確認をする。

　　オ　必要に応じて避難所へ避難する。（避難する際は、電気のブレーカーを切る。）

８　家庭における非常時の持ち出し品など

　（例）

|  |  |
| --- | --- |
| **貴重品*** 現金
* 予備の眼鏡、コンタクトレンズ
* 健康保険証
* 身分証明証
* 印鑑
* 携帯電話（充電バッテリー）

**食料*** 非常食
* 水

**便利品*** 防災ヘルメット
* 懐中電灯
 | * 笛、ブザー
* 使い捨てカイロ
* マスク
* 軍手
* ライター
* 応急処置セット

**その他*** 生理用品
* 紙おむつ
* 着替え
 |